

令和4年度滋賀県ニューツーリズム推進協議会 総会 概要

開催日時、場所

令和4年6月1日(水)13時00分から14時30分
コラボしが 21 3階 大会議室 (ウェブ会議併用)

参加団体

42団体、ウェブ会議出席46団体、委任状提出35団体

次第

<開会>

【会長(滋賀県知事)挨拶】

・コロナで変わったこと等を取り入れ、活かしながら、滋賀県の観光・地域の発展のために皆様と力を合わせていきたい。今日から、「今こそ滋賀を旅しよう!」は、京都府民・大阪府民・兵庫県民の方にもご利用いただけるようになり、近隣府県に行っていただけるようになった。いよいよ観光も動き出していくステージに入った。

・観光資源の再発見・再評価を行い、今まで当たり前に来てきた観光資源を磨きなおして、今日的な発信をしていきたい。そのために、滋賀県ニューツーリズム推進協議会を立ち上げている。ポストコロナを見据え、新たな観光ツーリズムを皆様と作っていききたい。

・シガリズムという滋賀の「イズム」と「リズム」をこれから強力に発信していきたい。そのため、今年3月に県の新たな観光振興指針「シガリズム観光振興ビジョン」を策定した。「シガリズム」というワードを強く打ち出していく。コロナで狂ったリズムを滋賀で取り戻していただけるような観光を皆様と作っていききたい。

・その一つのコンテンツとして、「ビワイチ」というサイクルツーリズムがある。琵琶湖一周だけでなく、「ビワイチ・プラス」として、内陸地域にもゆっくり自転車でお出かけいただけるサイクルツーリズムにも力を入れている。今年3月に「ビワイチ推進条例」が制定された。11月3日が「ビワイチの日」、3日から9日までを「ビワイチ週間」と定め、これから強力にPRしていく。サイクリストにやさしい宿として50施設を認証するなど、サイクルフレンドリーな地域を増やしていきたい。

・滋賀県の地酒でGI認定された。滋賀のお米で、滋賀の水でお酒を醸す。

・今村翔吾さんが、直木賞を受賞された。各所で強力に滋賀県を発信していただいている。再来年の大河では「光る君へ」で石山寺・紫式部、滋賀県の様々なところがPRできる絶好のチャンス。滋賀県の観光は伸びしろのある時代にある。力を合わせて、お客様、事業者様へ発信をしていく。

令和4年度滋賀県ニューツーリズム推進協議会 総会 概要

【新規参画4団体紹介】

○全日本空輸株式会社 京都支店

滋賀県の魅力発信に ANA として協力していきたい。

○日本航空株式会社 京都支店

航空業を含め、観光業厳しい状況ではあるが、航空業と地域事業を行っている。シガリズムの話があったが、滋賀県はリズムを整える場所として、今まさしく求められている地域と考えている。シガリズムを理解し、発信していき、滋賀を共に盛り上げていきたい。

○麒麟ビール株式会社 京滋支社

昨年度末に包括的連携協定を締結した。滋賀県の観光振興に飲料メーカーとしてどう連携していくか未知数な部分が多いが、連携していきたい。

○麒麟ビバレッジ株式会社 近畿圏支社

同じく、キリングroupとして、滋賀県の観光振興と連携していきたい。

<議題>

第1号議案 滋賀県ニューツーリズム推進協議会の会則の改正(案)について

○事務局より説明、承認される。

○会長(滋賀県知事)

強力にシガリズムを発信していく。好機でもある。新たに作ったシガリズムを磨き上げ、盛り上げていきたい。県も先頭に立って頑張っていきたい。

※会長は公務により退席、以降の議事は副会長(公益財団法人びわこビジターズビューロー)

<報告事項>

1 滋賀県ワーケーション推進部会について

○事務局より資料3-1、3-2、3-3、3-4について説明

2 滋賀県の主な観光施策について

(1)シガリズム魅力向上・発信事業

○事務局より資料4について説明

(2)ピワイチ観光推進事業

○事務局より資料5について説明

(3)ここ滋賀推進事業

○事務局より資料6について説明

令和4年度滋賀県ニューツーリズム推進協議会 総会 概要

3 (公社)びわこビジターズビューロー第3期中期計画(シガリズム宣言)について

○事務局より資料7について説明

4 各団体からの事業報告について

●(公社)びわこビジターズビューロー

○「ICOCA ポイントキャンペーン」について資料8に基づき説明

・びわ湖キャンペーン協議会での取り組みとして、ICOCA ポイントキャンペーンとの連携を説明。

●副会長(滋賀県旅館ホテル生活衛生同業組合)

○ワーケーション、SDGs 宣言について説明

・ワーケーション部会立ち上げ前にワーケーション先進県の和歌山県の白浜へ視察に行き、成功事例や悩み等を学んできた。参加した20名程度は各自の施設で学びを活かすため邁進している。

・今年の1月にSDGs宣言を行った。2030年までにどのようにしていくか検討していく特別委員会も立ち上げた。

●委員(滋賀県酒造組合)

○地理的表示GI「滋賀」(清酒)指定について説明

・R4.4.13に滋賀県で3つ目のGI指定を清酒として受けた。2年前から取り組んできた。滋賀県のお米、滋賀県のお水、滋賀県の醸造所で製造したものであることが条件となっている。

・R4.6.14から出荷予定。GIには認証シールが必要であり、6月14日以降シールの貼った清酒をお買い求めいただければ。

●委員(彦根市)

○彦根城世界遺産登録について説明

・世界遺産登録、今年度ロシアで開催予定であった世界遺産委員会がウクライナ侵攻により、延期となっている。現状、どのようなスケジュールで世界遺産登録が行われていくのか不透明な状況。

・ただし、文化庁から、継続して、彦根城の世界遺産登録作業の支援を受けている。彦根城の世界遺産登録については、建物や軍事施設としての価値を評価するものではなく、長く平和を維持した江戸時代の当時の仕組みを伝える特別施設(城主等の住まい

令和4年度滋賀県ニューツーリズム推進協議会 総会 概要

等)に世界的な価値があると考えているところ。彦根城を活かした地域振興を彦根市だけでなく広げていきたい。まず、国内推薦、2024 年の世界遺産登録を目指している。引き続き応援をお願いしたい。

●委員(滋賀日産自動車株式会社)

○EV を活用した観光事例について資料をもとに説明

・電気自動車を活用した地域課題解決のための取組を行っている。環境省と国立公園のオフィシャルパートナーシップを締結した。EVで国立公園を訪れた際に各施設、宿泊施設、通行料金等の優遇特典等を行うことで、観光地への交通手段、排出ガスの削減。また、電気の無い山の中に電気自動車を持ち込み、電気自動車から電気を取り、イベント等を行う取組などにより EV を活用し、環境・脱炭素啓発イベントの実施が可能である。滋賀県でも棚田等での取組も可能かもしれない。環境に良い観光を行っていただくうえで、EV を活用いただきたい。

●委員((公社)びわ湖大津観光協会)

・2024 年「光る君へ」について、力を入れて取り組んでいく。これから具体的な取組等を検討していくか、びわ湖大津観光協会だけでなく、滋賀県全体として、取り組んでいきたいので、御協力をお願いしたい。

●委員((株)JTB 滋賀支店)

・シガリズムを様々な形で発信していくため、JTB 協定旅館ホテル連盟の中でもびわ湖支部は全国に先駆けて Instagram を立ち上げた。最近では、春の家族旅行にふさわしいお宿、ランチにお勧めのお宿、周辺観光地域などの情報を発信している。「JTB 旅ホ連びわ湖支部」で検索すると、アカウントが出てくる。また、最近では、JTB の社員が実際にお宿に宿泊して、行ってきましたという投稿をしている。滋賀県の観光を盛り上げていきたい。

●副会長(公益財団法人びわこビジターズビューロー)

世界遺産登録について、2024 年登録に向けて進めていっていただきたい。それぞれの立場で、滋賀らしいリズムとイズムで、コロナ禍での疲れを癒す環境として、滋賀の魅力をそれぞれの事業の魅力とともに、発信いただき、シガリズム推進協議会の活動に引き続きご協力をいただきたい。また、各社、各団体の事業で共有できるものがあれば事務局へお知らせいただきたい。

令和4年度滋賀県ニューツーリズム推進協議会 総会 概要

閉会

○事務局

今後の本協議会内における情報共有の方法について、現在事務局において検討している。本協議会内で共有を希望される情報等があれば、事務局へ連絡をお願いしたい。詳細は、当協議会后、事務局からメールにてお知らせさせていただく。

○商工観光労働部長閉会挨拶

皆様のご協力により、滋賀県ニューツーリズム推進協議会改め、滋賀県シガリズム推進協議会の令和4年度総会を開催することができた。各団体間の情報共有・相互連携等により幅広い関係者によるシガリズムを核とした観光振興を実施していくため、皆様とともに当協議会および滋賀県の観光を盛り上げていきたいので、引き続き皆様の御協力をよろしくお願いしたい。